

# ひかり

2025年12月号



## 日本聖公会 三光教会

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nskk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

第739号

言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。  
(ヨハネによる福音書1:14)

### 神の恵みの先行性

司祭  
シモン・ペテロ 上田憲明

何年も前に、「罪と赦しの関係」についてお話ししたいということで、あるお医者さんとお話ししたことがある。その方は、随分勉強なさつたようで御自分の見解を述べられて、私自身もそういう方向で考えればいいだろうな、と思つたし、そう言つたので、それで終わつたと思つていたのだが、その後暫くして「それで、上田先生の見解は?」と再度尋ねられた。そんなことがあつたものだから、ある礼拝の中で説教中、最近一般の方もご存知の讃美歌「Amazing Grace」について話をした時に、はたと気付いた。この歌は、まさに、罪と赦しと、それに先立つ神の恵みを歌つている歌だと。今は曲として有名だが、むしろ曲が付けられる前に「Amazing Grace」という歌詞があり、それは1973年1月1日の祈祷会で始めて用いられた。ご存じの方もあると思

うが、この歌の作詞者、英國聖公会の牧師ジョン・ニュートンは、牧師になる前は、奴隸貿易に携わっていた。それだけでなく、随分すさんだ生活をし、神やキリストについても、ひどい言葉でののしつたりしていた。ある航海で、ものすごい嵐に遭い、高波が襲つた瞬間、自分の目の前で、数人の船員が波にさらわれ、一瞬にして命を落とした。次の波が来る前に彼は、祈りながら、自分や他の仲間が波にさらわれないようにロープで体を船に括り付けた。嵐が過ぎた時に、彼ははたと考え込んでしまつた。さつき、咄嗟に神様に祈つていた自分について。ここから、彼の回心は始まつた。よく、それから彼の人生が劇的に変わつたかのように語られるが、実際には、それからもしばらく奴隸貿易に携わつていて。

目に見える転機は、好きだったボリーという女性と結婚するところから始まる。ジョンは、長い間、航海に出てボリーと離れて生活するのが、段々耐えられなくなつた。ボリーという女性と結婚するところから始まる。ジョンは、長い間に、神様の恵みが自分の人生の中についたといふこと。そういうことに気付くと、さらに罪の自覚が深まり、さらに神の赦しが身にしみる。振り返つてみれば、罪の真つ只中にある時にも、神の恵みが絶えずあつたことに気付くようになるということが起こつていく。

彼は周囲の反対もあつたり、ある聖職には面と向かつて断られたりもしたのだが、牧師になることを目指し、やがて聖公会の司祭になる。オールネイというさほど大きくない村で、彼は機会あるごとに自分の体験に根ざした説教をすることになる。回心の体験をわかりやすい言葉で。その体験を詩の形でまとめたものの一つが、この「Amazing Grace」である。説教の中で、自分のひどい生活、罪を彼は何度も語る。そして、そこから彼の人生が劇的に変わつたかのように語られるが、実際には、それからもしばらく奴隸貿易に携わつていて。

「驚くほどの恵み」は私たちの人生の中にも起っている。そのことに私たちも気付いていけますよ。

( [http://en.wikipedia.org/wiki/Amazing\\_Grace](http://en.wikipedia.org/wiki/Amazing_Grace) を参考にしました)

## 12月～2月の予定

◆ 12月		◆ 2026年1月		◆ 2月	
28日(木)	ナス	1日(木)	主イエス命名の日	1日(木)	1日(木)
28日(水)	司祭教会博士トマス・アクリイ	2日(木)	降臨節第4主日	2日(木)	2月被献日
28日(木)	ストム	3日(木)	使徒聖トマス日	3日(火)	ヨーロッパの殉教者
28日(金)	ナス	4日(木)	降誕日前夕(クリスマス・イヴ)	4日(木)	日本の殉教者
28日(土)	司祭教会博士トマス・アクリイ	5日(木)	降誕日	5日(木)	日本の殉教者
28日(日)	ナス	6日(木)	降誕後第1主日	6日(木)	日本聖公会組織成立記念日
28日(月)	司祭教会博士トマス・アクリイ	7日(木)	聖なる幼子の日	7日(木)	大齋節前主日
28日(火)	ナス	8日(木)	聖なる幼子の日	8日(木)	大齋節第1主日
28日(水)	司祭教会博士トマス・アクリイ	9日(木)	福音記者使徒聖ヨハネ日	9日(木)	殉教者主教ボリカーピ
28日(木)	ナス	10日(木)	降誕後第2主日	10日(木)	使徒聖マッティヤ日
28日(金)	ナス	11日(木)	1月逝去者記念礼拝	11日(木)	顯現後第4主日
28日(土)	ナス	12日(木)	顯現後第1主日・主イエス	12日(木)	顯現後第5主日
28日(日)	ナス	13日(木)	修院長アントニオ	13日(木)	2月2日
28日(月)	ナス	14日(木)	殉教者主教フアビアン	14日(木)	顯現後第4主日
28日(火)	ナス	15日(木)	殉教者おとめアグネス	15日(木)	2月2日
28日(水)	ナス	16日(木)	殉教者執事ビンセント	16日(木)	被献日
28日(木)	ナス	17日(木)	殉教者第3主日	17日(木)	ヨーロッパの殉教者
28日(金)	ナス	18日(木)	使徒聖パウロ回心日	18日(木)	日本の殉教者
28日(土)	ナス	19日(木)	主教教会博士ヨハネ・クリ	19日(木)	日本聖公会組織成立記念日
28日(日)	ナス	20日(木)	大久保郁子	20日(木)	大齋節前主日
28日(月)	ナス	21日(木)	青野悦人	21日(木)	大齋節第1主日
28日(火)	ナス	22日(木)	牟田実	22日(木)	殉教者主教ボリカーピ
28日(水)	ナス	23日(木)	・藤田葉二	23日(木)	使徒聖マッティヤ日
28日(木)	ナス	24日(木)	・浜口俊	24日(木)	顯現後第5主日
28日(金)	ナス	25日(木)	・村井美帆	25日(木)	2月2日
28日(土)	ナス	26日(木)	・黒川文子	26日(木)	被献日
28日(日)	ナス	27日(木)	・森明子	27日(木)	ヨーロッパの殉教者
28日(月)	ナス	28日(木)	・五十嵐真知子	28日(木)	日本の殉教者
28日(火)	ナス	29日(木)	・	29日(木)	日本聖公会組織成立記念日
28日(水)	ナス	30日(木)	・	30日(木)	大齋節第4主日
28日(木)	ナス	31日(木)	・	31日(木)	2月2日

## クリスマス



第Ⅰ聖餐式 12月24日(水) 22時  
(深夜のミサ)  
第Ⅱ聖餐式 12月25日(木) 7時半  
(暁のミサ)  
第Ⅲ聖餐式 12月25日(木) 10時半  
(日中のミサ)

※なお、これに加えて2026年度の教会委員会にて推薦者3名を決定する予定です。

▲2026年度  
教会委員選挙  
開票報告(得票順)

第147回定期教区会報告

藤田 新一郎

11月22日㈯に聖アンデレホールで開催された東京教区第147回定期教区会の報告です。

会議に先立ちまして高橋主教

の開会演説があり、その後議事に移り、まず教区各委員会および関係団体からの2026年度の活動方針を中心とした報告・説明があり、そのうち議案の審議採決に入りました。また、これらに並行して日本聖公会総会代議員選挙が行われました。

議案は次の8議案でしたが、

そのうち6号議案を除く7議案が、いずれも規則で定められた得票を得て可決されました。

1 2026年度教区収支予算案

2 教区新設を承認する件

3 合併契約書承認の件

4 日本聖公会東日本教区「教区

会細則」を承認する件

5 日本聖公会東日本教区「常置委員会選挙実施要綱」を承認する件

6 「北関東教区・東京教区・宣教協働・新教区設立推進に関する覚書」を改定する件（提案者からの申し出により取下げ）

7 教区事務所総主事任命承認の件

8 監事指名承認の件

植松功氏の4名が日本聖公会代議員に選出されています。

さて、北関東教区は2021年3月で退職される広田主教の後任を選ばずこの伝道教区になる道を選びました。

そして2021年3月、北関

東教区・東京教区両教区主教、両

教区常置委員会連名で「北関東教区・東京教区」からの歩みに向

けて」を発布し、「今後、両教区

が、東日本宣教協働区の中につ

て、草の根の交流、相互理解の深

化、様々な分野における協働を推

進しながら、5年後を目途に新

しい教区を新設する、という目標

を目指し、協議・検討していく」

ことになつたのです。

そこからの5年は、コロナ禍と重なつたこともあり、交流、相

互理解が思うように進まなかつた

かもしれません。それでも小さな

交流、地道な話し合いを重ね、今

年に入つてからは3回の「新教

区設立ミーティング」が開催され、

11月には「念願の」合同礼拝を行ふことで両教区の結びつきは確

実に深まり、新教区設立に向けての機運も少しずつ高まつてい

つたと感じていました。

そして、長く日本聖公会の課題として認識されながら、「開かずの扉」とされていた教区再編の

## 新教区設立議案可決される

藤田 新一郎



2025年11月22日と24日の両日は日本聖公会にとって歴史的な日として記録されるでしょう。22

日に開催された東京教区第147回定期教区会において、24日に開催された北関東教区第93回定期教区会において両教区の合併議案が可決されました。

歴史を少し遡りますが、2020年の日本聖公会総会において、宣教体制の強化と教区の再編のために「宣教協働区」と「協働委員会」が設けられることになり、北海道、東北、北関東、東京の4教区は「東日本宣教協働区」として協働の歩みを進めることになりました。

また同じ総会では教区主教を選出せず、管理主教、協働委員会のものとで、教区再編（分割・合併等）を目指す「伝道教区」制度も可決

され、北関東教区は2021年3月

で退職される広田主教の後任を選

ばずこの伝道教区になる道を選び

ました。

扉がついに開かれたのです。合併議案が可決されたことが確認された瞬間、東京教区会の議場に沸き起こつた拍手は、私がこれまで経験した拍手の中でも最も喜びに溢れており、教区会代議員の多くの新教区設立を前向きに、希望を持つて賛意を示したことを見つかりと感じました。

今後、2026年2月23日に開催

される予定の日本聖公会臨時総会で両教区の合併が正式に承認され、続いて5月上旬に新教区の第1回教区会が開催されることで、新教区は正式にスタートします。また、並行して宗教法人としての東京教区、北関東教区の合併手続きも進められます。

とはいって、大変なのはこれからで、合併に必要な手続きは始まつたばかりです。これまで異なる歴史を歩んできた両教区の組織、諸規則、特に財政関連の課題を含わせるにはさらなる困難とそれを乗り越える労力が必要になります。

議案説明において常置委員長の中川英樹司祭がおつしやつた言葉お借りしますが、教区というのは主教や常置委員会、教区事務所関係者を指すのではなく、そこに

含まれる全ての教会、礼拝堂とそこに集う聖職・信徒から成り立ちます。三光教会の皆様にも、一人が当事者として新しい教区設立の歩みに参加することをお願いいたします。



マーマレード作りのご協力を  
お願いいたします。



(前庭の夏みかんの木)

ジャム作りへのお手伝いをお願い致します。

1月17日(土) 10時から夏みかんの収穫作業。

1月24日(土) 9時30分から煮込みとビン詰め作業を行ないます。詳しいことは、社会宣教委員会へご確認下さい。

なお、作業にご参加出来ないという方でも、砂糖の献品を受付けております。皆さまご協力を宜しくお願い致します。



### 教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前 10 時から 1 時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ  
礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。

- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

日本聖公会 三光教会 教会報「ひかり」 2025年12月号（第739号）

発行者：牧師 上田 憲明 編集・印刷：三光教会広報委員会

### 礼拝のご案内

#### ■主日礼拝

午前 7:30 聖餐式  
午前 10:00 ステパンノ会  
(日曜学校)礼拝

午前 10:30 聖餐式  
午後 4:00 夕の礼拝

#### ■平日礼拝

毎朝 6:30 から  
月、水、金は朝の礼拝、  
火、木、土は聖餐式